

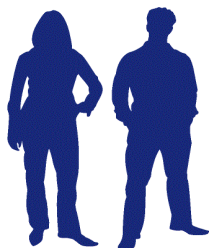
# アジア太平洋地域ポストトレード100

アジア太平洋地域でのポストトレード業務における自動化について

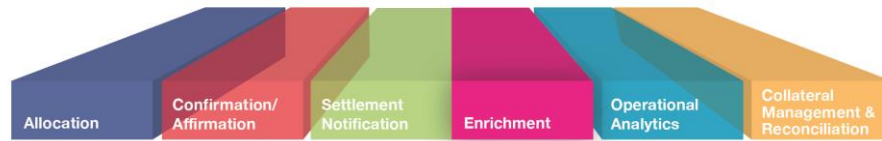
InsightAsia – May 2014

本書はInsightAsiaによる調査「アジア太平洋地域ポストトレード100」のサマリーであり、日本でのポストトレード処理に重点を置いています。本書に記載されているすべてのデータは、この調査によるものです。調査の全文は、OmgeoのWebサイト（[www.omgeo.com/insightasia](http://www.omgeo.com/insightasia)）からダウンロードできます。

本書は、2013年8月から10月に実施された100件の詳細なインタビューに基づく調査資料です。



## Omgeo. Automating the trade life cycle.



**Copyright** © 2014 Omgeo LLC. All rights reserved.

This publication (including, without limitation, any text, image, logo, compilation, code and/or design) is proprietary and protected by copyright. This publication is for exclusive use by users authorized by Omgeo LLC. If you received this publication from Omgeo by any electronic medium, you are granted a limited, non-exclusive, non-transferable, non-sublicensable, and freely revocable license. This license enables you to download and store this publication on your computer and print copies for your own use. Except if and as authorized by the foregoing, no part of this publication may be printed, stored, reproduced, copied, altered, modified, posted, distributed, transmitted, displayed, published, sold, licensed, or used in any form or by any means, without Omgeo's prior written approval.

Omgeo has attempted to ensure the accuracy, timeliness, and completeness of this publication, but makes no warranties and assumes no responsibility relating thereto. The content of this publication may change from time to time without notice; readers are advised to refer to the latest version available.

Omgeo<sup>®</sup> and the Omgeo logo are registered service marks owned by Omgeo LLC, 55 Thomson Place, Boston, MA 02210. All names of Omgeo services referenced herein are either registered service marks or service marks of Omgeo LLC in the United States and elsewhere. Other product or company names appearing in this publication are trade or service marks of their respective owners.

The U.S. Securities and Exchange Commission regulates several Omgeo services. For more information, visit [www.Omgeo.com/regulation](http://www.Omgeo.com/regulation).

Omgeo has approved this document for public distribution. The examples, pictures, and data are for illustrative purposes only. This document contains no actual trade data.

**Publication Date:** May 19, 2014

**Title:** アジア太平洋地域ポストトレード100



# Table of Contents

InsightAsia - May 2014 .....	1
はじめに .....	3
背景 .....	3
論理的根拠 .....	3
手法 .....	3
要旨 .....	4
<b>戦略的検討事項 - アジア太平洋地域での自動化の推進要因 .....</b>	<b>4</b>
ミドルオフィス自動化の推進要因 .....	4
ミドルオフィスのストレスポイントとボトルネック .....	4
<b>現状 - アジア太平洋地域における自動化のベンチマーク比較 .....</b>	<b>5</b>
国別の自動化レベル .....	5
アセットクラス別の自動化レベル .....	5
株式 .....	5
債券 .....	5
上場デリバティブ (ETD) .....	5
<b>ポストトレード・プロセスの自動化レベル .....</b>	<b>6</b>
取引通知 .....	6
取引アロケーション .....	6
取引確認 .....	6
取引照合の通知 .....	6
業態別の取引自動化の実際のレベル .....	6
<b>将来の展望 - アジア太平洋地域の業務責任者の課題と選択肢 .....</b>	<b>7</b>
決済サイクル短縮 (SSC) .....	7
T+3マーケット .....	7
社内ポストトレード・システムの合理化 .....	7
オフショアリングとアウトソーシング .....	7
規制と市場構造の変化 .....	7
<b>結論 .....</b>	<b>8</b>
自動化は加速しているが改善の余地あり .....	8
主な推進要因はコストと不要リスクの削減 .....	8
同一地域内格差の存在とさらなる協調の必要性 .....	8
各種アセットクラスで求められる標準化 .....	8



# はじめに

## 背景

本書は、Omgeo Pte Ltd（オムジオ シンガポール）の依頼を受けて、InsightAsia Banking & Finance Consultingが実施したアジア太平洋地域でのポストトレード処理に関する独自調査に基づきます。この調査の目的は以下のとおりです。

1. 業務計画の重要性の問題を含め、この地域でのポストトレード業務の実態について戦略的な評価を提供する
2. シンガポール、香港、オーストラリア、日本、中国、韓国、マレーシア、インドネシア、台湾、タイ、ベトナム、インド、フィリピンのポストトレード自動化能力をベンチマークテストする（株式業務と債券業務の比較を含む）
3. 海外機関投資家、国内機関投資家、ヘッジファンド、民間銀行、国内証券会社、国際証券会社（プライムブローカーを含む）、カストディアンの業態別にベンチマーク結果を比較する

## 論理的根拠

金融市場全体の安全性と整合性を確保するには、取引の実行後と決済前に実施される取引照合プロセスに関連する業務リスクの管理が重要です。

取引照合プロセスの自動化は、より高い透明性を提供し、合意価格での証券の安全な譲渡を促進します。自動化とストレートスルー・プロセッシング（STP）は、ミドルオフィスに以下のようなメリットがあることが良く知られています。

- ・ フェイル取引率の低下
- ・ 人手を介するプロセスを省くことによる業務リスクとコストの削減
- ・ 適時性と精度の向上
- ・ 明確な監査証跡をはじめとする透明性の向上

アジア太平洋地域の経済的重要性が増大する中で、同地域に流入する資金と地域内を流通する資金も増加しています。

その一方で同地域の金融市場機能にはポストトレード自動化の成熟度に差異があり、高取引量の管理能力に直接影響しています。

この調査は、アジア太平洋地域におけるポストトレード・プラクティスのみに焦点を当てた初めての調査です。本書の目的は、ポストトレード処理の現状に関する明確な分析を提供し、マーケット参加者が明日のミドルオフィスを検討する上での業界と業務上の課題を明らかにすることにあります。

## 手法

Insight Asiaは、2013年8月から10月の間に、アジア太平洋地域13か国100人の上級業務責任者にインタビューを行いました。回答者のほとんどは、最高執行責任者（COO）またはトレーディング業務のマネージャー、あるいはディレクターです。

各社の戦略的見通しと、会社および業界レベルでの業務変更の推進要因に関する知見を得るために、多くの上級責任者に対して追加質問を行いました。

自動化のレベルは、各回答者による自社の説明と照合プロセスの4ステージにおける採点（10点満点）に応じて決定しました。

対象となるプロセスは、以下のとおりです。

- ・ 取引先企業とのミドル、およびバックオフィス間での取引通知の伝達
- ・ 取引アロケーションの自動化
- ・ 取引確認の自動化



- ・ 照会後のカスタディアン（バイサイドの場合）または投資機関（セルサイドの場合）への伝達回答の集計と分析は、国、アセットクラス、業態別に行いました。回答者名と企業名は匿名化しています。可能な限り回答者を各セクターの上位10社に限定しましたが、多くの場合は各セクターの第1位、第2位、またはその両方からの回答です。

## 要旨

アジア太平洋地域のマーケット参加者が、新しい規制環境と地域の潜在的経済力に対する投資家の関心の高まりへの適合を進める中で、業務責任者はポストトレード自動化を戦略的に検討しています。

- マーケット参加者の93%は、ポストトレード・プロセス自動化の必要性が増大していることを認めています
- 手作業プロセスの削減と統合化されていないITシステムへの対応のために、32%がストレートスルー・プロセッシング（STP）の拡大を望んでおり、20%以上の回答者は債券取引の自動化を優先課題として回答しています
- 機関投資家の67%、証券会社の53%は、自動化への投資の第1の推進要因として規制へのコンプライアンスの達成を挙げており、コスト削減がそれに続きます（機関投資家の20%、証券会社の42%）
- 具体的には、バーゼルIIIとドッド・フランク法がマーケット参加者に自動化を促す一方で、ヘッジファンドにとっての主要推進要因は、EUのオルタナティブ投資ファンド運用者指令（AIFMD）です
- 回答者はフェイル取引によって生じる財務的、および非財務的コストに留意しており、31%は最大の懸念として信用リスクを挙げています

アジア太平洋地域全体で自動化のメリットに対する関心は高まっていますが、導入意向と必要性のレベルには、局所的にアセットクラス間、業態間で相違があります。

将来に対応したミドル、およびバックオフィスを計画する上で、業務責任者はよりタイトなマージン、変化する規制環境など、多くの課題に直面しています。同時に、決済サイクルの自動化と同期化へと向かう世界的な動きは、ベストプラクティスの機会を提供しています。

## 戦略的検討事項 アジア太平洋地域での自動化の推進要因

### ミドルオフィス自動化の推進要因

ミドルオフィス自動化の主な推進要因は規制へのコンプライアンスです。自動化のレベル向上を目指す第一の理由として、回答者の63%が規制へのコンプライアンスを挙げています。費用効果がこれに続き、自動化のレベル向上を目指す一番の理由として、回答者の4分の1（25%）が費用効果を挙げています。処理能力も重要な要因と見なされていますが、規制へのコンプライアンスや費用効果の問題ほどには重視されていません。

### ミドルオフィスのストレスポイントとボトルネック

統合化されていないITシステムとプロセスは、手作業によるタッチポイントと、それに伴うリスクの増加を招いており、回答者の約3分の1（32%）は、ミドルオフィスのすべての業務で一層のストレートスルー・プロセッシング（STP）が必要であると考えています。何よりもまず始めに、回答者は債券業務のさらなる改善が必要であると回答しており（21%）、約4分の1がこのアセットクラスでは自動化が株式ほど進んでいないと回答しています。またミドルオフィスの一部の業務は、取引ライフサイクルの他の分野より低速かつ、煩雑であるため、約定処理（17%）と取引確認（9%）処理のさらなる自動化も求められています。



# 現状 アジア太平洋地域における自動化のベンチマーク比較

## 国別の自動化レベル

アジア太平洋地域ではオーストラリアの自動化のレベルが最も高く、株式取引で88%、債券取引で69%となっています。これは、国内および海外取引の決済に、株式、債券、ETD取引を処理するOmgeo Central Trade Manager (Omgeo CTM) などのサードパーティ・ベンダーのシステムが比較的広範囲に亘って採用されているためです。その他のマーケットではインドの自動化レベルが高く、株式取引のスコアは81%を記録していますが、債券取引の自動化は51%となり、あまり進んでいません。香港、シンガポール、インド、日本、韓国、中国のスコアは、株式取引で70~80%、債券取引で60~70%です。

## アセットクラス別の自動化レベル

この地域でポストトレード処理を自動化している企業は、株式取引では71%、債券取引では55%でした。これは債券市場が通常は店頭取引（OTC）で行われ、株式取引と比較して標準化が進んでおらず、取引照合プロセスに手作業の要素がより多く残されているためです。日本では証券会社が取引所との間に端末リンクとライブ・データフィードを持っており、海外取引メッセージングにOmgeoやFIXなどのプロバイダーを活用しています。

## 株式

株式取引の全体的な取引照合プロセスで自動化スコアが最も高いのは、オーストラリアです。オーストラリアは、取引照合プロセス全体で40点満点中35.4を記録しました。韓国（32.1）、日本（32.0）、中国（31.8）も好スコアを記録しました。日本では、証券会社が取引所との間に端末リンクとライブ・データフィードを持っています。日本と韓国の両方で、海外取引通知にはOmgeoやFIXなどのプロバイダーが利用されています。日本では、大手資産運用機関の取引アロケーションに取引照合システムもよく利用されています。ただし、取引照合システムは、海外クライアント向けについては広く利用されていますが、国内クライアント向けには国内信託銀行の確認要件が発生するため、取引アロケーション処理はほとんど手作業で行われています。

## 債券

株式と同様、債券取引の全体的な取引照合プロセスで自動化スコアが最も高いのは、オーストラリアです。大手機関投資家は、照合プロセスの4ステージすべてでOmgeo CTMなどの統合化されたプラットフォームを利用する傾向があります。オーストラリアの全体的な債券取引自動化スコアは27.6でした。日本では、取引のメッセージング、アロケーションや確認にさまざまなプラットフォームが利用されていますが、国内クライアントについては、取引確認に関する国内信託銀行の時間と形式の要件があるため、手作業による取引アロケーション処理が必要となる場合があります。日本のスコアは26.1でした。

## 上場デリバティブ（ETD）

ETDと従来型の証券で処理の自動化を比較した場合に、回答者の41%はETDの方が遅れていると答え、24%はほぼ同程度であると答えています。結果は国によって開きがあり、各国の取引所が取引の中央決済機関の保証人として機能しているかどうかによって異なります。特に、インド、韓国、中国、日本の回答者は、ETDの処理が高度に自動化されていると答える傾向があります。



# ポストトレード・プロセスの自動化レベル

## 取引通知

アジア太平洋地域では、株式取引の取引通知は取引アロケーションと共に取引照合の4ステージの2段階目に位置付けられています。債券取引の取引通知は、取引確認と共に最も自動化されていないステージです。

取引通知の自動化スコアが最も高いのはオーストラリアで、株式取引で9.2、債券取引で6.6でした。これは、取引照合にサードパーティ・システムを利用しているためです。日本では証券会社が国内取引向けに取引所との間に直接ゲートウェイ・データフィードを持ち、海外取引向けに各種ベンダープラットフォームを利用しており、株式取引の取引通知のスコアは8.1でした。債券取引の取引通知では、日本の機関投資家と証券会社はNRIシステムやOmgeo CTMを利用する傾向がありますが、通知にファックスや電子メールが使用されるケースは現在も存在します。全体として、日本のアセットクラスの自動化スコアは6.0でした。

## 取引アロケーション

取引アロケーションは、バイサイド、およびセルサイド企業間でさまざまな形式で行われています。オーストラリアは株式取引の取引アロケーションの自動化スコアは最高値の8.4でしたが、債券取引のスコアは6.4で、6.6を記録したシンガポールに次いで第2位となっています。日本、韓国、中国では、取引アロケーション処理に大きな格差があります。日本の証券会社は、国内信託銀行の要請により、取引アロケーション処理を手作業で行うことが強いられる場合があります。一方で日本の証券会社の海外クライアントがこのような要件を課すことは稀であり、Omgeo CTMなどのプラットフォームを利用することで、通常は一層の自動化が図られています。日本のスコアは、株式取引で7.8、債券取引で6.2でした。

## 取引確認

オーストラリアはポストトレード・ライフサイクルの最初の部分で照合不一致の特定と管理を行っており、取引確認の自動化で最高スコアを記録しました。オーストラリアのスコアは、株式取引で9.2、債券取引で6.8でした。

日本では国内の取引確認が大きな悩みの種となっており、国内クライアントよりも海外クライアント向けの取引確認においての自動化がより進んでいます。日本のスコアは、株式取引で7.7、債券取引で6.1でした。

## 取引照合の通知

取引照合の通知の自動化では、オーストラリアが株式取引（8.6）と債券取引（7.8）の両方で最高スコアを記録しました。中国、韓国、日本のスコアも特に株式取引で高得点でした。日本では、自動化のレベルはクライアントの好みに応じて異なります。日本のスコアは、株式取引で8.1、債券取引で7.8でした。

## 業態別の取引自動化の実際のレベル

アジア太平洋地域では、業態別の取引自動化レベルに地域ごとに差があります。株式取引では、国内機関投資家の自動化レベルは、自動化が進んでいるオーストラリア、韓国、日本と、手作業が多いフィリピン、ベトナムとの間に隔たりがあります。債券取引では、オーストラリア、日本、香港、シンガポールの企業を除けば、株式取引と比較してポストトレード処理における手作業が多く、自動化率は48%となっています。



# 将来の展望 - アジア太平洋地域の業務責任者の課題と 選択肢

## 決済サイクル短縮（SSC）

世界的に、決済サイクル短縮への動きが加速しています。欧州は一歩進んだ段階に入っており、全EU加盟国間の証券取引に2日間の決済サイクル（T+2）を導入しています。米国や、近いところではオーストラリア、シンガポールのマーケットでも、決済サイクル短縮のための協議が行われています。アジア太平洋地域の多くのマーケットは、すでにT+2（あるいはT+1）で運営されていますが、それを統一するような管理体制は存在しません。日本は国内株式取引をT+3で運営しています。調査の対象となった証券会社の多くの責任者は決済サイクル短縮の動きを認識していますが、マーケットが取引を処理する能力、特に国内信託銀行が現在規定している取引確認要件について慎重な姿勢を示しています。

## T+3マーケット

オーストラリアの国内参加者の間では、決済サイクル短縮について、国内株式取引のT+1への移行を求める側と、より慎重な側とで意見が分かれています。今回の調査を開始して以降、T+2への移行に関する協議が勢いを増しており、この問題についてASXがマーケットに意見を求めています。

日本の証券会社は国内決済サイクル短縮への動きを認識していますが、マーケットがこのような取引を処理する能力、特に国内信託銀行が規定している制限的な取引確認要件について慎重な姿勢を示しています。

## 社内ポストトレード・システムの合理化

アジア太平洋地域が市場を開放し国際取引が増加する中で、国際証券会社および機関投資家は、この地域でのビジネス向けに単一の業務モデルを採用するか、それとも国ごとに専用のモデルを用意するかを検討しています。

## オフショアリングとアウトソーシング

世界的に、ミドルオフィス業務の一部またはすべてを、アウトソーシングあるいはオフショアリングするかどうかの判断がマーケット参加者にとって重要な問題となっています。アジア太平洋地域では、35%の企業がミドルオフィスの中心的活動をアウトソーシングまたはオフショアリングしています。主なメリットとして回答者が挙げたのは、処理能力（38%）、コスト削減（28%）、リスク軽減（19%）、生産性向上（16%）でした。

## 規制と市場構造の変化

回答者はさらなる市場開放とアジア太平洋地域内のマーケット間の協調への動きに対する認識を強めており、ドッド・フランク法とバーゼルIIIの要件が、世界および域内金融市場のリスク管理手法に与える影響について言及しています。また回答者は、自国内で進行中の出来事にも注意を払っています。たとえば、日本のマーケットは、東京と大阪の証券取引所の統合や、日本証券クリアリング機構（JSCC）と日本国債清算機関の統合に合わせた対応をする必要がありました。





## 結論

### 自動化は加速しているが改善の余地あり

アジア太平洋地域のポストトレード・プロセスの自動化は加速していますが、株式、および債券取引の手作業による従来同様の照合や、部分的に自動化プロセスを導入するマーケット参加者が存在します。

### 主な推進要因はコストと不要リスクの削減

規制の増加、コスト圧力、取引量の変動により、ミドル、およびバックオフィス業務は世界的にかつてないほど複雑になっています。自動化とSTP実現のための努力は、フェイル取引に関連する信用リスクを含め、コストとリスクの削減に役立ちます。さらに、自動化によるタイムリーな取引処理と適切な監査証跡の提供は、マーケット参加者がより効率的なコンプライアンスを実現する上でも役立ちます。

### 同一地域内格差の存在とさらなる協調の必要性

アジア太平洋地域には、自動化のレベルと実践に依然として大きな格差が存在します。域内とグローバルの取引と投資の効率を確保し不要なリスクを緩和するには、ポストトレード処理のベストプラクティスの適用範囲を手作業による処理にまで拡大し、自動化の恩恵をもたらせるように、一層の協調が必要です。

### 各種アセットクラスで求められる標準化

アジア太平洋地域は、債券およびETD取引のポストトレード自動化のレベル向上を通じてコストとリスクの両面でメリットを獲得し、これを株式取引のポストトレード標準に近づける立場にもあります。一層の重点化が求められる領域としてポストトレード・プロセスで最も自動化が遅れていると考えられる取引確認がありますが、これは、現在入手可能な自動化ソリューションの導入によって改善が可能です。アジア太平洋地域のパフォーマンスの基本となるベストプラクティス・プロセッシングの必要性  
最後に、決済サイクル短縮の世界的進行、新規規制の導入、市場開放による域内流通資金の増加によって複雑さが増すことは、ミドル、およびバックオフィス業務の自動化の必要性が増すことを意味します。一部の回答者は解決策としてアウトソーシングを考えていますが、それによって企業がコンプライアンス責任を逃れられるわけではなく、場合によっては独自の課題と業務リスクが生じる可能性があります。

### アジア太平洋地域のパフォーマンスの基本となるベストプラクティス・プロセッシングの必要性

最後に、決済サイクル短縮の世界的進行、新規規制の導入、市場開放による域内流通資金の増加によって複雑さが増すことは、ミドル、およびバックオフィス業務の自動化の必要性が増すことを意味します。一部の回答者は解決策としてアウトソーシングを考えていますが、それによって企業がコンプライアンス責任を逃れられるわけではなく、場合によっては独自の課題と業務リスクが生じる可能性があります。

###



Omgeo. All together now.

**Americas**

Omgeo LLC  
55 Thomson Place  
Boston, MA 02210  
askomgeoamericas@omgeo.com  
Tel: 1 866 49 OMGEO (1 866 496 6436)

**Asia**

Omgeo Pte Ltd  
18 Science Park Drive  
Singapore 118229  
askomgeoasia@omgeo.com  
Tel: 65 6775 5088

**Europe**

Omgeo Ltd  
Aldgate House  
33 Aldgate High Street  
London EC3N 1DL  
askomgeoeurope@omgeo.com  
Tel: 44 20 3116 2424

**Japan**

Omgeo K.K.  
Akasaka Park Building 5-  
2-20 Akasaka Minato-Ku  
Tokyo, 107-6119  
Japan  
askomgeoasia@omgeo.com  
Tel: 813 4589 3950



[www.omgeo.com](http://www.omgeo.com)

Copyright© 2014 Omgeo LLC. All rights reserved. Omgeo® and the Omgeo logo are registered service marks of Omgeo LLC. All names of Omgeo services appearing herein are either registered service marks or service marks of Omgeo LLC in the United States and elsewhere. The U.S. Securities and Exchange Commission regulates several Omgeo services. For more information, visit [www.omgeo.com/regulation](http://www.omgeo.com/regulation).

Omgeo has approved this document for public distribution. The examples, pictures, and data are only for illustrative purposes. This document contains no actual trade data.